「使用済紙おむつのリサイクルモデル構築に係る検討」
第２回意見交換会の開催

県では、令和６年１月に兵庫県資源循環推進計画を策定し、各種資源循環の取組を促進しています。

現在、使用済紙おむつについては、今後の可燃ごみ中の割合の増加や焼却炉への負荷が指摘されています。自治体が分別収集やリサイクルを行うにも、リサイクル方法やにおい、衛生上の問題、処理後物の再生利用方法等については、まだ課題も多く検討の途上にあります。

この状況を踏まえて、兵庫県では効率的・効果的な使用済紙おむつの回収・リサイクルモデル「ひょうごモデル」の構築が必要と考えています。

令和８年８月 31 日に開催した第１回意見交換会では、使用済紙おむつリサイクルに関する課題や解決策について、参加者の皆さまから活発なご意見をいただきました。第２回では、第１回でのご意見をさらに発展させ、最新技術や、使用済紙おむつリサイクルで目指す「ひょうごモデル」について、いろいろな立場の皆さまと議論を進めていきたいと考えています。

多くの人々が利用する紙おむつが、使用後も資源として活用できる社会を目指して、皆さんとともに、今後、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて検討を進めていきましょう。

令和８年 11 月 24 日

１　「使用済紙おむつのリサイクルモデル構築に係る検討」第２回意見交換会
（１）日時　令和８年 11 月 30 日（月）14 時～16 時
（２）場所　ラッセホール２階ルージュローズ（神戸市中央区中山手通 4-10-8）
（３）内容　（第一部）使用済紙おむつリサイクルに係る講演
　　（第二部）グループディスカッション
（４）方法　いずれも対面又はオンライン

意見交換会は Zoom により配信します。視聴をご希望の方は、次の URL からウェビナーにご入室ください。

（第 2 回意見交換会　Zoom 配信用 URL） 作成中